

社会福祉学科

介護福祉 専攻

1 年

科目名：人間関係とコミュニケーション I				担当教員 氏名：宮嶋 潔、松尾 祐子、寺岡 栄一	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	専門必修科目	演習	必修	介護福祉士(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		社会福祉士の資格を活かし、利用者とのコミュニケーションや面談のあり方を経験をもとに授業で活かしている。			
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード	
介護実践のために必要な人間の理解や他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を養う。				自己覚知、ラポール、コミュニケーション、面接技術	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6.	
B 専門的技術		介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。			
E 自己管理能力		介護福祉士として、自らを律して行動できる。			
F チームワーク・リーダーシップ		他者と協調・協働して行動できる。			
G 倫理観		尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につける。			
H コミュニケーション力		福祉専門職として他者への情報の伝達に必要な基礎的なコミュニケーション能力を身につける。			
成績評価の基準と方法：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： %	レポート： 50 %	発表： 20 %	実技試験： %	その他： 30 %	
特記事項： 「その他：30%」では、演習に対する取り組みや態度について評価する。 本科目では、アクティブ・ラーニングの一環として、グループワークを活用し、学生相互の理解を深める。					
アクティブ・ラーニング要素： 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：第2回目以降、毎回の授業終了後に自己評価を実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：レポート課題に評価を付けて学生に返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①全体オリエンテーション～自己紹介～			演習を振り返る	【復習】30分	
②自己覚知～自分の価値観について～			演習を振り返る	【復習】30分	
③自己理解・他者理解～ライフストーリー～			演習を振り返る	【復習】30分	
④支援関係における人間関係の形成～ラポールの形成～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑤対人関係とコミュニケーション①～一方向のコミュニケーションと双方向のコミュニケーション～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑥対人関係とコミュニケーション②～言語的メッセージ、準言語的メッセージ、非言語的メッセージ～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑦対人関係とコミュニケーション③～対人空間のとり方(面接の環境づくり)～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑧介護福祉士にとってのコミュニケーション技術の必要性・中間まとめ			演習を振り返る	【復習】30分	
⑨コミュニケーションの技法①～傾聴～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑩ビデオ学習～信頼関係を結ぶ面接技術～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑪コミュニケーションの技法②～開かれた質問と閉ざされた質問～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑫コミュニケーションの技法③～効果的な質問～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑬認知症高齢者とのかかわり方①～バリデーション～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑭認知症高齢者とのかかわり方②～回想法～			演習を振り返る	【復習】30分	
⑮介護福祉士と利用者とのかかわり方について・まとめ			演習を振り返る	【復習】30分	
使用テキスト： 新・介護福祉士養成講座1「人間の理解」中央法規 ISBN978-4-8058-5761-8			その他参考文献など： 授業の中で適宜紹介する。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 演習のため、積極的な参加を心がけてください。					